

	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習に対する意欲は高いが、継続的に学習することを苦手とする生徒が多い。</li> <li>○自分の意見をもつことはできるが、他者に伝わるようまとめたり、記述したりする能力に課題がある生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字テストなどの小テストを継続して行い、粘り強く学習する意欲を育てる。</li> <li>○小作文やディベートを多く取り入れ、他者とのコミュニケーションや意見の記述について、より重点的に取り扱う。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習した内容や授業の要点を自分の力でまとめて記述することに苦手意識をもっている生徒が多い。</li> <li>○授業で学習した内容や教科書に記述された内容と、現実の社会で起こっている社会現象との関連をイメージできていない生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎時間の授業の振り返りを継続したり、まとめやすく記述しやすい取り組み方の指導をしたりすることで、自分の言葉でまとめる力を育む。</li> <li>○授業にニュースを取り入れて、学習した内容が現実社会と関連していることを意識させ、学習意欲を高める。社会の構成員として当事者意識をもたせる。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本的な「知識・技能」の習得については、意欲的に取り組んでいる生徒が多い。</li> <li>○「数学的な見方や考え方」を伸ばす指導の工夫が必要である。</li> <li>○自主学習の教材については取り組めるようになったが、計画性に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の始めに、振り返りテストを実施し、既習事項を振り返り、習得状況の確認を行う。机間指導、ワークシート等の活用を通して、基礎・基本的な「知識・技能」の定着を図る。また、単元テストや定期考査を通じて、生徒のつまづきを発見し、的確な助言や指導を行う。</li> <li>○習熟度に応じて、発展的内容を取り入れる。1つの課題を深く検討する時間を設けるだけでなく、類題等にも触れる中で思考力・判断力・表現力を伸ばす工夫をする。</li> <li>○自身の学習の取組に対して、適宜振り返りをする機会をつくるとともに、反復練習を促していく。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未知の問題を解決する粘り強さと思考力に課題がある生徒が多い。またコミュニケーション能力が不十分で、他人と協働する力に課題がある生徒が多い。</li> <li>○計算問題が苦手な生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の中で未知の問題を協働して解決していく機会を意図的に増やすとともに、世の中と理科の関わりを伝え、興味関心を高める。</li> <li>○グループで問題解決に取り組むときのやり方の例を示し、適宜アドバイスをしながら取り組ませる。</li> <li>○計算が苦手な生徒に対して問題演習の機会を与え、基礎的な計算力および科学的な考え方を指導する。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に音楽活動に取り組める生徒が多い。歌唱活動では、協力して練習に取り組むことができる。歌唱の発声法や、詩の内容および曲想を理解し表現していくことが不十分である。</li> <li>○振り返りの記入では、項目のみになっていたり、学習内容の感想になってしまったりする生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発声については、実技練習の中で繰り返し指導することや、グループ学習を通して、良い発声の生徒から学べるようにする。表現については、楽譜に書かれている記号や詩を読み込み、グループで話し合う時間を確保し、表現活動につなげる。</li> <li>○振り返りの記入をする際に、学習内容の確認をし、感想にならないように個人的に声かけをする。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集中して制作に取り組む生徒が多く、出来栄も良い。ただ、丁寧に集中して制作に取り組むため、時間を要する生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○制作過程を示し、毎時間のゴールを設定して取り組ませる。また、1・2年時に学習した内容の復習も含めて計画的に授業を進める。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○習得した知識を基に、自己の課題を解決するための改善策について、具体的に記入するのが苦手な生徒が多い。</li> <li>○タブレット端末による提出物について、提出率が低い傾向がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の中で、習得・活用・探求という学びの過程を通して、解決に向けて試行錯誤を重ねながら思考を深め、よりよく解決するなどの深い学びを促す。</li> <li>○提出について、毎授業アナウンスをするとともに、オンラインでの提出を習慣化させていく。</li> </ul>
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験的な学習活動に対する興味関心が高く、内容についてもより良いものを目指して取り組もうとする。</li> <li>○身に付けた知識を技能に生かせていない生徒が多い。</li> <li>○知識の定着に差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○粘り強く学ぶ動機や内容理解を促すきっかけをつくるため、体験的な学習や動きのある作業を短時間でも設定していく。</li> <li>○資料や作業の進め方の例を提示して目標達成までをイメージさせ、理解が技能につながる支援をする。また、繰り返し声をかけるとともに時間設定を工夫する。</li> <li>○振り返り方において、様々な情報を得た上で、知識を活用しまとめていく様子を工夫する。</li> </ul>

<p>外国語 (英語)</p>	<p>○ライティングに関して苦手意識をもっている生徒が多い。語彙学習を敬遠する傾向がある。</p> <p>○口頭での英問英答の際、単語で答えることはできるが、主語・動詞からなる文章で答えることが難しい。</p>	<p>○1、2年の復習を踏まえ、簡単な文章で自分の意見を伝える文章を書く活動を入れていく。単語テストを定期的実施し、復習を中心とした単語指導を行っていく。</p> <p>○ALTとの会話テストやスピーチ、タブレットを使用したプレゼン活動などのパフォーマンステストを取り入れていく。ESAT-Jを意識して、模擬問答などの対策を講じていく。</p>
---------------------	---	--